

●いざという時のために、避難行動を家族で確認しておきましょう。

スタート

高潮ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し印をつけましょう。



家のある場所は浸水が想定されている区域内ですか？

NO

浸水想定区域でなくても、周りと比べて低い土地などにお住まいの人は町の避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

YES

災害の危険があるので、原則として安全な場所への避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、①～③の全ての条件を満たす場合は、**自宅に留まることも可能です。**

- ①建物に高波が掛かるおそれがない。
- ②想定される浸水の深さよりも高い所にいる。
- ③浸水しても水が引くまで耐えられる備えがある。

自分または一緒に避難する人は、避難に時間がかかりますか？

YES

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

YES

警戒レベル3

が発令されたら安全な場所の親戚や知人宅に避難しましょう。

NO

警戒レベル3

が発令されたら町が開設している指定避難場所へ避難しましょう。

NO

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

YES

警戒レベル4

が発令されたら安全な場所の親戚や知人宅に避難しましょう。

NO

警戒レベル4

が発令されたら町が開設している指定避難場所へ避難しましょう。

！危険な場所にいる人は避難が原則！

◎自宅が安全なら留まるという選択肢も

自宅が浸水の危険がない地域だったり、頑丈なマンションの上層階の場合は在宅避難も考えましょう。

◎親戚・知人宅などへの避難も考える

避難先は、避難場所だけではありません。避難場所で混雑をさけるためにも、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅も、避難先として考えておきましょう。

◎マスク・アルコール消毒積・体温計などを持参

避難場所のマスクやアルコール消毒液・体温計などの備えは限られています。個々の非常持出品に加えておきましょう。

